

令和7年度 鬼北町地域の特色を活かした埋蔵文化財活用事業
史跡公園オープン1周年記念シンポジウム

九州・西南四国の山岳霊場のつながり ～ 奈良山の世界を考える～

令和8年
2月28日(土)
13:00～16:30

奈良山等妙寺 歴史交流館
(北宇和郡鬼北町大字中野川 1093 番地)

3/1日
バス見学ツアー
先着20名
裏面へ



テーマ：『海に向かってつながる等妙寺「奈良山」の世界』

趣 旨：中世の等妙寺は、天台教学を習得する修行寺として創建され、以来、南予屈指の中核寺院として発展しましたが、その背景には背後に広がる「奈良山」の存在があります。これまでの調査研究によって、山岳霊場「奈良山」の成立・発展には、海を介して九州、特に豊前・豊後との関係性やつながりが深いことが明らかとなってきました。そこで、基調講演にて奈良山と周辺との関係性について明らかにするとともに、九州の山岳霊場研究の事例について報告いただき、シンポジウムでは、山岳霊場「奈良山」の実態について考えてみたいと思います。

内 容：13:00～13:05【あいさつ】

13:05～13:25【趣旨説明】『奈良山と九州とのつながり』
幡上 敬一（鬼北町教育委員会 教育課 課長補佐）

13:25～14:10【基調講演】『山岳霊場「奈良山」と周辺世界とのつながり』
山本 義孝（日本山岳修験学会 理事）

14:10～14:20（休憩）

14:20～14:50【事例紹介1】『東九州の山岳霊場－彦山・彦山六峰・国東六郷山－』
岡寺 良（立命館大学 教授）

14:50～15:20【事例紹介2】『山岳霊場の神事と法会－等覚寺の松会と天念寺修正鬼会－』
若杵 善満（福岡県荏田町歴史資料館 学芸員）

15:20～15:30（休憩）

15:30～16:30【シンポジウム】『海に向かってつながる等妙寺「奈良山」の世界』
司会進行：幡上 敬一（鬼北町教育委員会）
パネラー：講師（山本、若杵、岡寺）

主 催：鬼北町教育委員会